

平成28年度 事業計画の概要



JANSIへの期待

- 事業者からの期待
プロフェッショナル集団として事業者が世界最高水準の安全性を達成すべく国際的な視点で事業者を牽引する。

- 原子力規制委員会（NRA）からの期待
事業者から独立した強力な自主規制組織として機能する。



JANSIの決意

- 期待に応えるための環境づくり
自主規制組織としての自覚を職員一人一人に浸透させる。
- 実践する活動
 - ① 「安全性向上策の評価と提言・勧告及び支援」
(SA対策の評価・提言、等) …未来の安全性の確保、向上
 - ② 「原子力施設の評価と提言・勧告及び支援」
(ピアレビューによる評価、等) …現在の安全性の確保、向上
 - ③ 「二本柱を支える基盤活動」



JANSIのミッション (JANSIがなすべきことをより明確化)

「日本の原子力産業界における、世界最高水準の安全性の追求(～たゆまぬ最高水準(Excellence)の追求～)を確実なものにするため、原子力事業者の自主的継続的安全性向上を牽引する」



平成28年度事業の基本的進め方

原子力発電所の再稼働が大きく進展することは期待できず、事業者においては、**依然として厳しい経営環境**にある。また、各事業者は**規制対応に追われること**が予想される。



重要優先課題を抽出し、当該課題に資源を集中して投入すると共に、緊急度の低い活動の実施を先延ばしする等優先度を考慮することにより、資源の有効活用を図り、費用・要員の増加を極力低く抑える。



平成28年度においては、

- 民間規格整備計画の見直し、OE情報処理の一元化の繰り延べ等により、予算を抑制
- 要員についてもピアレビューの体制強化を図る一方で、他の各部要員の増加を抑制
- **年度重点活動として、「原子力の安全性を高める活動」及び「『社会から見た原子力リスク』を低減する活動」の観点から5件を抽出**
- **事業者とのコミュニケーションを積極的に展開し、ミッション達成に努める**



平成28年度重点活動

(1)原子力発電所の安全性を高める活動

➤ピアレビューの質の向上と実施 ⇒ A

➤発電所総合評価の実施 ⇒ B

(2)『社会から見た原子力リスク』を低減する活動

➤再稼働発電所に対する支援

- ◆ガイドラインの充実と実績のデータベース化による先行プラントの経験の確実な情報伝達
- ◆第三者的活動としてのエキスパートによるウォークダウン、駐在員の派遣

➤日本原燃(株)再処理施設への支援

- ◆再処理施設の竣工に向けての支援について、日本原燃殿と調整中

➤「もんじゅ」への支援(「在り方検討会」の結果を見極めて、支援内容を検討)



原子力施設評価関連活動(ピアレビュー)

➤ ピアレビューの質の向上と実施

- ◆ 4発電所のピアレビューを継続的に実施し、着実にピアレビューの質を向上
- ◆ INPO/OBによるコーチング、WANO教育プログラム等への参加、WANOピアレビューへの参加等及び継続的な訓練の実施により、ピアレビューの質を安定的に向上
- ◆ エクセレンスガイドラインの継続的改訂など

➤ 関連する活動

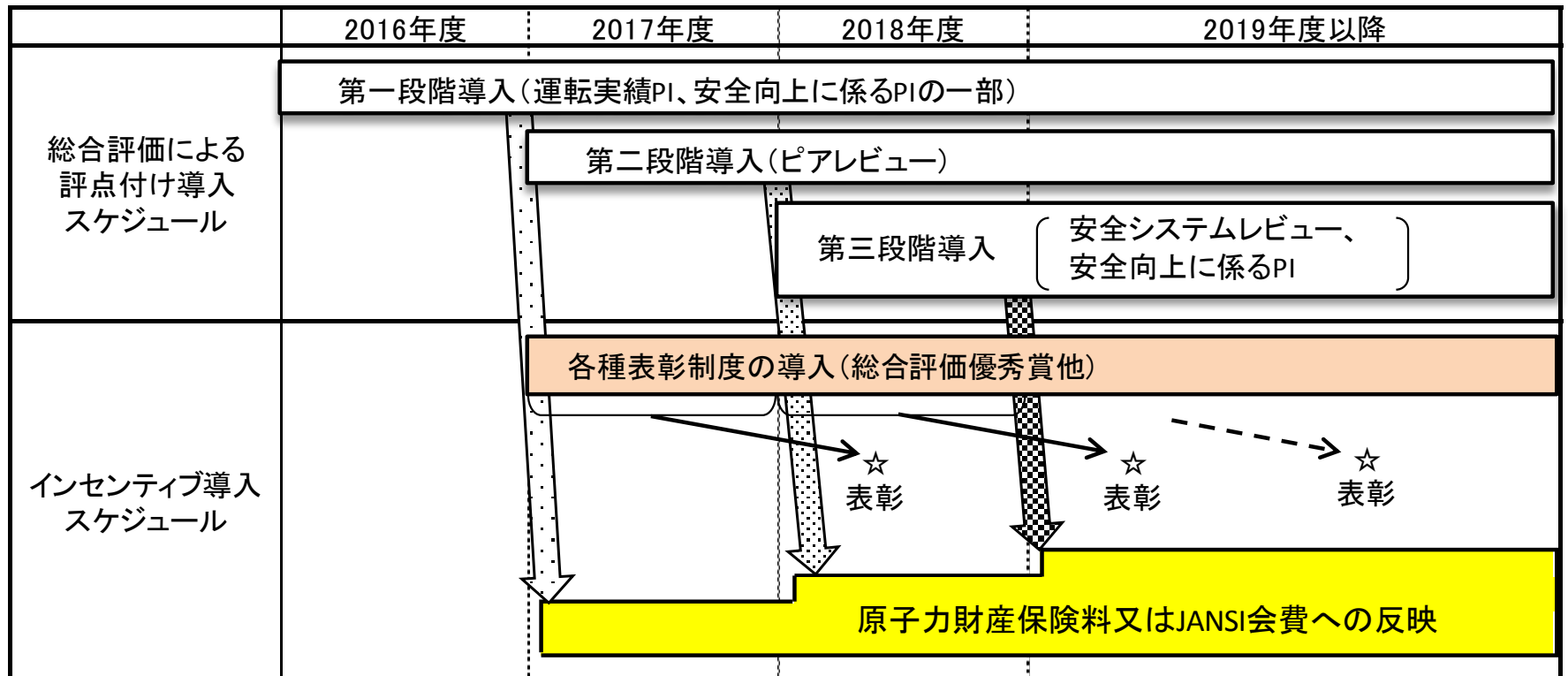
- ◆ デザインインフォームドレビュー(DIR)、コーポレートピアレビュー(CPR)の導入検討
- ◆ メーカーピアレビューは6箇所計画など

➤ WANO同等性取得

- ◆ WANOピアレビューとの同等性取得に向けては、原子力発電所の再稼働の状況を確認しながら、WANO及び事業者と調整を行っていくものとする。

B 発電所総合評価システム

発電所総合評価の早期導入のため、仕組み構築と試行を行ったものから順次実施。本年度より運転実績PI等の運用を開始。



JANSIの主要活動の計画(その①)

安全性向上活動

- シビアアクシデント(SA)対策の評価を継続し、6プラントを現地調査予定
- 2プラントの火災防護に係る特定レビューを実施予定
- 安全性に影響する重要度の高い課題について安全性向上策の必要性・有効性等の検討を行い、必要に応じて提言・勧告する
- リスクマネジメント活動については、エクセレンスガイドライン(RMEG)を充実 ⇒ C
- JSARガイドラインについては、懸案事項の対応等を行うとともに解説書を作成する
- リスク情報活用関係の活動においては、一部業務をNRRRCに移管する(7月)

【NRRRCへの移管業務】

- ・PRAピアレビューの実施
- ・PRA用パラメータの整備
- ・PRA活用に関する規格制定等の支援

【JANSIが引き続き行う業務】

- ・PRA人材育成
- ・リスクマネジメント活動



リスクマネジメント体制確立の支援、評価活動

➤ 活動内容

RM : リスクマネジメント
RMEG: リスクマネジメントエクセレンスガイドライン

事業者のリスクマネジメント体制の充実強化の支援及び評価

➤ 活動計画

—————><— 2014年度 —><— 2015年度 —><— 2016年度 —><— 2017年度 —><— 2018年度 —><—



JANSIの主要活動の計画(その②)

➤ 国際対応

- ◆海外機関との連携の充実を図り、信頼関係を構築するために、**国際連携室を核として**、JANSI全体の活動を戦略的に推進
 - ◇国際動向を踏まえたJANSI国際戦略案の策定
 - ◇常に国際動向、新知見に注意を向ける組織文化の構築
 - ◇組織全体として整合性がとれた国際連携の推進
 - ◇海外機関・組織との組織大の円滑なコミュニケーションの実現

➤ OE情報の収集・分析・評価・活用

- ◆重要技術課題について**OE文書を発行**し、事業者の取り組みを支援、フォロー
- ◆PWR、BWRの海外情報検討を統合するシステムの構築など

➤ 発電所等支援

- ◆**組織改編による体制強化を反映した支援活動の展開**
- ◆再稼働発電所、再処理施設、もんじゅ等への支援
- ◆個別テーマとして、防災訓練、QMS、ヒューマンファクター関連等への支援
- ◆安全文化アセスメントの実施、安全キャラバン等による安全文化醸成活動の支援など

【根本原因分析研修の実施状況】



JANSIの主要活動の計画(その③)

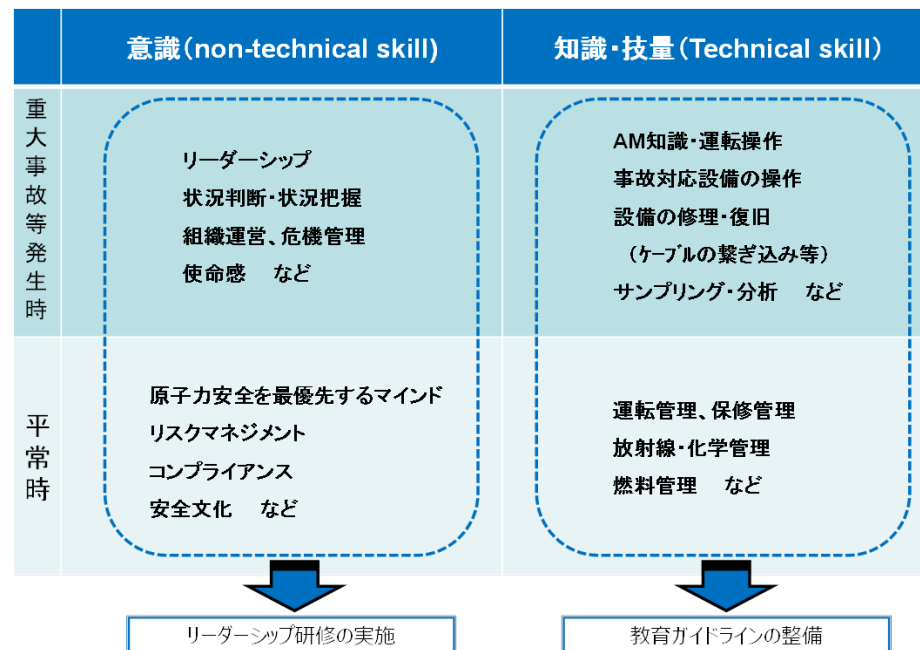
➤ 人材育成

- ◆ 発電所長研修等のリーダーシップ研修の体系の充実と計画的実施
- ◆ 運転責任者判定、保全技量認定業務を確実に実施
- ◆ SAT手法を用いた教育・訓練ガイドラインの策定に着手など

【力量向上の仕組み】

➤ JANSI職員の人材育成

- ◆ 長期要員計画及び育成計画の着実な実行
 - ◇ 力量管理の運用開始
 - ◇ 人材育成プログラムの構築と実施など



➤ その他基盤業務

- ◆ 自主ガイドラインの整備継続
- ◆ 学協会規格の整備促進
- ◆ 保全の有効性評価等に活用する
原子力発電所の保全基盤のデータベース等の充実など

➤ 原子力規制委員会(NRA)対応

- ◆ 将来的にNRAと補完的な関係を構築するために、自主規制組織としての実績を積み重ね、NRAとのコミュニケーションを継続する中で、信頼関係を築いていく。

